

日刊県民福井 掲載記事 平成25年 8月 8日

趣向凝らしイベント

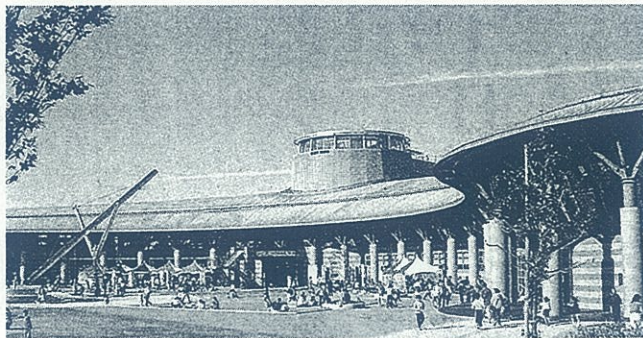
夏休み期間中のお楽しみスポットとして、エンゼルランドふくい(県児童科学館、坂井市春江町)と、こども家族館(おおい町成海)では、趣向を凝らしたイベントや企画を実施しています。家族そろってぜひお出掛けください。

【エンゼルランドふくい】一九九九年六月にオープンし、昨年度、年間来館者数が、初めて五十万人を突破しました。県内だけでなく、県外からの来館も多く、人気の高い施設となっています。

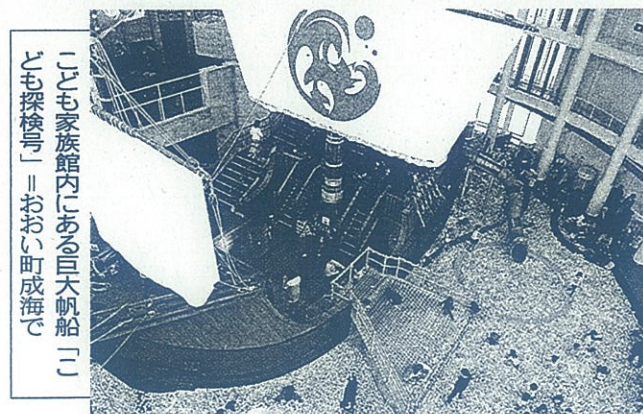
本館には、北陸最大級の直径二十三メートルのドーム型スクリーンを備えたプラネタリウムや、「宇宙と科学」「自然のしくみ」「人のくふう」の三つのゾーンを通して、身近な生活から広大な宇宙に関する発見と体験ができる展示エリアがあります。屋外には、緑の芝生広場を囲むように、真っ白なテントの上で飛び跳ねたり寝転がったりできる「こ

いきいき ヲイコ

エンゼルランドふくいこども家族館



エンゼルランドふくい=坂井市春江町東太郎丸で



こども家族館内にある巨大帆船「こども探検号」=おおい町成海で

親も子も楽しめる内容

【こども家族館】

どもの雲や、せせらぎの水、氷に直接触れることができ、利用したウォーターガン「南極の水展」(二十五日まで)を開催しています。年間の来館者数が二十万人を超える、本年三月には親子でいろいろな大型アスレチック遊具が並び、魅力ある全天候型施設となっています。お仕事を体験できる「こども探検号」や、南極の「こども探検号」(九月二十一〜二十三)も予定しており、大人から子どもまで幅広い年齢層の方に楽しんでいただいています。【こども家族館】

現在、宇宙航空研究開発機構(JAXA)など専門機関の協力を得て、「ふくから子どもまで幅広い年齢層の方に楽しんでいただいています。【こども家族館】

【こども家族館】

【こども家族館】

【こども家族館】

【こども家族館】

【こども家族館】

【こども家族館】

【こども家族館】

【こども家族館】

探検ゾーン」と、ものづくりやクッキングをテーマにした「工房ゾーン」の二つのゾーンからできています。一階の工房ゾーンは、四十人が一度に参加できるものづくり工房とクッキング工房のほか、お買いもの体験ができるわくわくショップなどがあり、乳幼児から小学生まで、子ども同士でも親子でも楽しむことができます。

健康

一階と三階のあそび探検ゾーンは、巨大帆船「こども探検号」と、約二十万個のボールを使ったボールプールがあり、網のはしごや滑り台を使って船とボールを行き来しながら、思いっきり体を動かして遊べます。夏休み期間中には、使わなくなったおもちゃを取り換えっこできる「かえっこバザール」(十一〜十二日)二万個の積み木で遊べる「積み木であそぼ」(十七〜十八日)などのイベントを開催します。両館に関する情報はエンゼルランドふくい=電0776(51)8000、こども家族館=電0770(77)3211へ。

(県子ども家庭課)